

なが ばししょくさい
特定非営利活動法人 京・流れ橋食彩の会 (京都府 八幡市)

四季のはなえみ「京野菜のシリーズ：竹の子パン」「京・流れ橋クッキー」

◇活動の経緯、内容

平成11年に八幡市が「都市農村交流施設整備構想」を計画する中で、既存の農村女性グループに声をかけ、女性達が構想の具体化に参画したことがこのグループの発端である。

組織化に際しては、採算性を優先するのではなく、社会教育やまちづくりの推進、文化の振興等、地域への貢献を目的とすることとし、その目的を一層明確にするため、平成13年に農村女性の組織としては全国的にまだ珍しかったNPO法人として活動を開始した。



平成14年にオープンした交流施設「やわた流れ橋交流プラザ四季彩館」を活動拠点に、各メンバーの得意分野を活かした生産部会（パン、洋菓子、和菓子、漬物など）と体験部会（パン、そば、ジャム）を組織し、商品開発・製造販売と体験学習の受け入れ等に取り組んでいる。

特にパンや洋菓子の製造に関しては、地域に手作りのものを提供する店が少なかったことから好評を博し、地域の人たちがパンを求めて集まって来る、食を通じた憩いの場を提供する役割を果たしている。

◇代表作品の紹介

竹の子パン、京・流れ橋クッキー：

竹の子パンは、「白子」と呼ばれる肉厚でえぐみのない地元産のたけのこを使用し、その歯ごたえを活かした和風の味付け、たけのこに似せたパンの形など、随所にこだわって開発されたものである。4～5月の季節限定商品であり、注文予約が入るほどの人気がある。

京・流れ橋クッキーは、地元の良質なたん茶の茎を使った香ばしい風味の焼き菓子で、木津川の流れを模した渦巻き模様が特徴である。観光客の土産物としても好評を得ている。

